

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372600730
事業所名	グループホーム ゆたか

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 恒例の“ゆたか祭り”は、台風の影響等で日程が変更になったりしたが、それでも200名を超える来場者があった。来場者のお目当ては、祭りの名物となっている大きな梨が並ぶバザーである。利用者の重度化が進んできているが、地域の公園の清掃活動には利用者3名が参加した。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 奇数月の第1土曜日を運営推進会議の開催日と決め、年間6回の会議が開かれている。その内の2回は系列のデイサービスと共催しており、参加メンバーも多く、会議の時間もたっぷりと取っている。テレビ画面に撮りためた写真を写しだし、ホームや利用者の状況を説明している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議への市の職員の参加はないが、東部高齢者相談センター（地域包括支援センター）の職員が必ず参加している。市・介護高齢課との連携が図られており、利用者の関係で市・福祉課に用事があるときにも、介護高齢課の職員が仲介役をしてくれる。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 年間3回の家族会では、これまで“認知症”や“グループホーム”を正しく理解するための勉強会を行ってきたが、家族の希望をも取り入れ、楽しめるイベントを企画することとなった。手始めは年末の「クリスマス会」である。毎月、利用者の様子を伝える“手紙”（ホームの状況と利用者個々の様子が記載されている）を家族に送っている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎		